

# 天神山城跡(秩父郡長瀨町)

築城年代:天分元年(1532年)、築城者:藤田重利

正面中央の山頂に天神山城模擬天守が見える/手前の線路は秩父鉄道



こんな感じ



さて、ここは天神山城跡の北西側麓にある白鳥神社/ここの裏手から直登すると模擬天守のある本郭に出るという







# 白鳥神社

所在地 秩父郡長瀬町大字岩田

白鳥神社の祭神は、菅原道真公・日本武尊  
埴山姫命で、例大祭は毎年二月二十五日である。  
神社の起源は、元慶年中（八七七、八八五）  
に岩田（白鳥）武信が勧請し、白鳥天神宮と  
称し祀ったのが始まりといわれ、後の北条氏  
邦はこの白鳥大明神を厚く崇敬していたので  
近くにある根古屋城を天神山城に改めたと伝  
えられている。

その後、明治三年に白鳥天神宮は、天満天神  
社となり、さらに明治九年七月八日に白鳥神  
社と改称した。この時村社に列格され、明治  
四十年五月八日、丹生大神社、思金神社、八  
幡神社を合祀して現在に至っている。

また、社地は、初め椿の森と称されていた  
が、宝永二年（一七〇五）の冬から毎年伐採  
され、同六年の春にはすべて伐採されて、跡  
地に杉苗を植付けた。現存する一部の老杉  
は、当時のものであるといわれている。

昭和五十七年三月

長瀬町

さて、白鳥神社の裏手左手にあるこの山道を登って行こう/このルートは「搦手口」のようだ





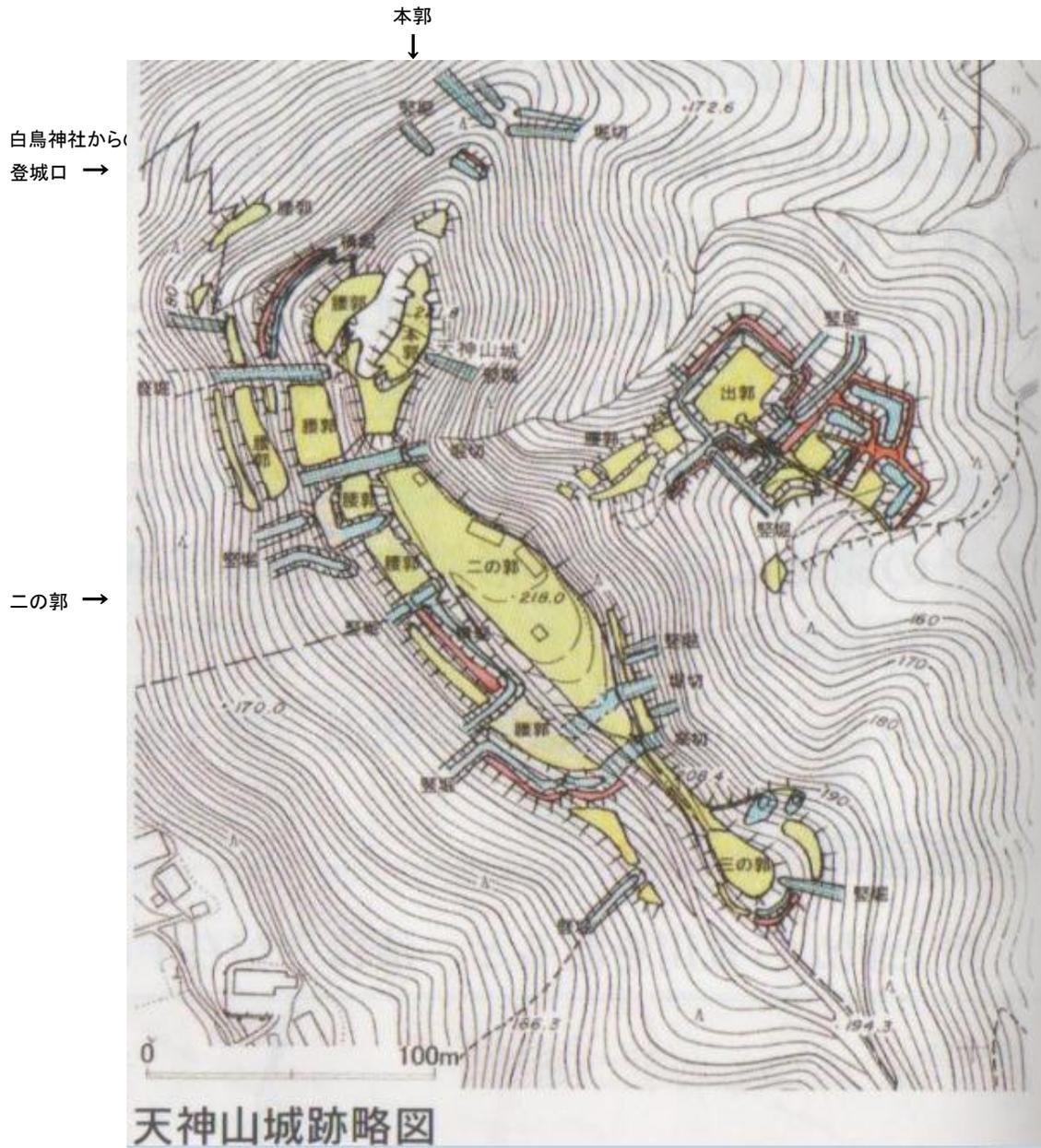
前方に小祠が見える





振り返ると白鳥神社の社殿屋根が見える





埼玉県立嵐山史跡の博物館発行「比企の中世・再発見」より

↑ 大出口からの登城口

さて、ここからは道なき道を進む



僅かに踏み固められた足元を頼りに山頂を目指す



こうした獣道を高さ100mほど登らなければならない



かなり登るとこのような横堀がある



こんな感じ



反対を見たところ



少し近づいて見たところ/左手は山の斜面で右手には土塁が築かれて横堀となっている



左手を見上げると、頂上まではもう少し登らなければならない



すると今度は平場があった/腰郭のようだ



こんな感じ



右手を見上げると模擬天守が見える



これが頂上の本郭に建つ模擬天守/観光開発用に建設されたという



ドアが開きっ放しになっている



観光開発は頓挫したといい、如何にも廃城といった様子



さて、これは模擬天守の裏手に回り込んで、本郭から北東方向を見たところ/前方に小祠が立っている



これがそれ



振り返って南西方向を見たところ



なお、北東方向の先には一段下って腰郭が存在する



これがその腰郭に下りて北東方向を見たところ



そこから北方向を見たところ



振り返って南西方向を見たところ



斜面には石積みらしき遺構があった



さて、これは南方向から見た模擬天守



武者走りを右方向(東方向)に進んでみる



南東側へ下り落ちる竖堀があった



そこから背後を見上げたところ



さて、今度は本郭から南方向の二の郭方向へ進もう



橋が架けられている



下を見ると堀切がある



これはその堀切に下りて東側から西方向を見たところ



こんな感じ



岩が剥き出しになっている/石垣として積み上げたものではなく元々、岩場であったようだ



堀切の先は坂を下っている



これは振り返って見たところ



こんな感じ



こちらも急激に下って豎堀状になっている



左手をみるとやはり岩肌が露出している



さて橋の前方(南東方向)は二の郭となっている



左手には廃墟となった観光開発用のトイレがあった



右手を見下ろすと平場が見える



その平場に下りて南東方向を見たところ/ここは西側の腰郭のようだ



これは反対に南東側から北西方向を見たところ/西側にはこのような腰郭が幾つも存在するようだ



右手の斜面を見上げるとこれはまさしく石積みと思われる遺構がある/この上は二の郭



さて、二の郭に上がり、南東方向へ進もう



二の郭は細長く続く/北東からの風が強いのか、細い木はみんな南西側になぎ倒されている



一月にしては珍しく暖かい日に、満を待して訪れたものの、こんな草原状態で見通しが悪いが、前方に櫓のようなものが見えてきた



観光開発用の展望台だったようだ



これは振り返って展望台から模擬天守のある本郭方向を見たところ



これは展望台に登って本郭方向(北西方向)を見たところ



同じく南西方向を見たところ



同じく北東方向を見たところ



同じく南東方向を見たところ/こちらを進むと二の郭の先に三の郭がある



さて、展望台を下りて三の郭へと進もう



この先に三の郭があるようだ



一段下がっている / 前方の両サイドには土塁のような高まりがある



左手を見たところ/この辺りには堀切がニヶ所あったようだが観光開発により改変されてしまったようだ



右手を見たところ



ここが三の郭



少し進むと前方に墳丘のような高まりが見えてくる



左手前方がそれで櫓台のようだ/右手にはその櫓台を取り巻く横堀がある



これがその横堀



檜台の裏手まで回り込んでいる/三日月堀というらしい



そこから南東方向は尾根が下っている/この方向は「大手口」につながるようだ



さて、これは檜台から進んで来た二の郭方向を見たところ



進んで来たところを戻ることにする/この辺りは二ヶ所の堀切があったところ



正面は二の郭にある展望台



二の郭にあるトイレ(手前の建物)と本郭の模擬天守のところまで戻った



さて、いよいよに難関の、東側に所在する出郭(正面谷底の右手辺りと思われる)へ行ってみよう/二の郭とはつながっていないので  
トイレの後辺りからこの急斜面を滑り降りるような状態で下って行く/ここへ戻ってくる体力を温存しながら・・・



谷底へ下りてくると、この先は更に右手に回り込んで続いている



右手を見上げると、この上が出郭のようだ



上に這い上がる/ここが出郭/北東方向を見たところ



左手の本郭を見上げる



模擬天守が見える



これは南東側にある虎口状の窪み



その窪みの先を見下ろしたところ/出郭を取り巻く横堀やその先の平場(腰郭)が見てとれる



これが横堀



こんな感じ/左手が出郭、右手は土塁/その更に右手に腰郭がある



これがその腰郭



このような横堀や堀切が随所に見られる



これは右手が出郭で左手は先程とは別の南西側にある腰郭



その堀切



こんな感じ



その先は下っている



振り返って見たところ



これは土塁上から見たところで左手が出郭と横堀、右手は斜面となって下り、別の平場(腰郭)が見てとれる



この先がその腰郭/手前に堀切が横切っている



これはその堀切を渡る土橋



ここがその腰郭



左手を見ると堀切の向こうに出郭が見える



堀切と土塁(右手)/左手は出郭



土塁上から見たところ/右手は斜面となって下っている



このような状況が各所に存在する



このように岩が剥き出しになっているところも随所にあった/この出郭周辺は当時の遺構がそのままに現存していた/この後、必死の思いでトイレのある二の郭へ這い上がり、白鳥神社まで帰還した



さて、正面の木は白鳥神社の少し南方向にある「大手桜」



天神山城の大手門にあった桜の木というが・・・



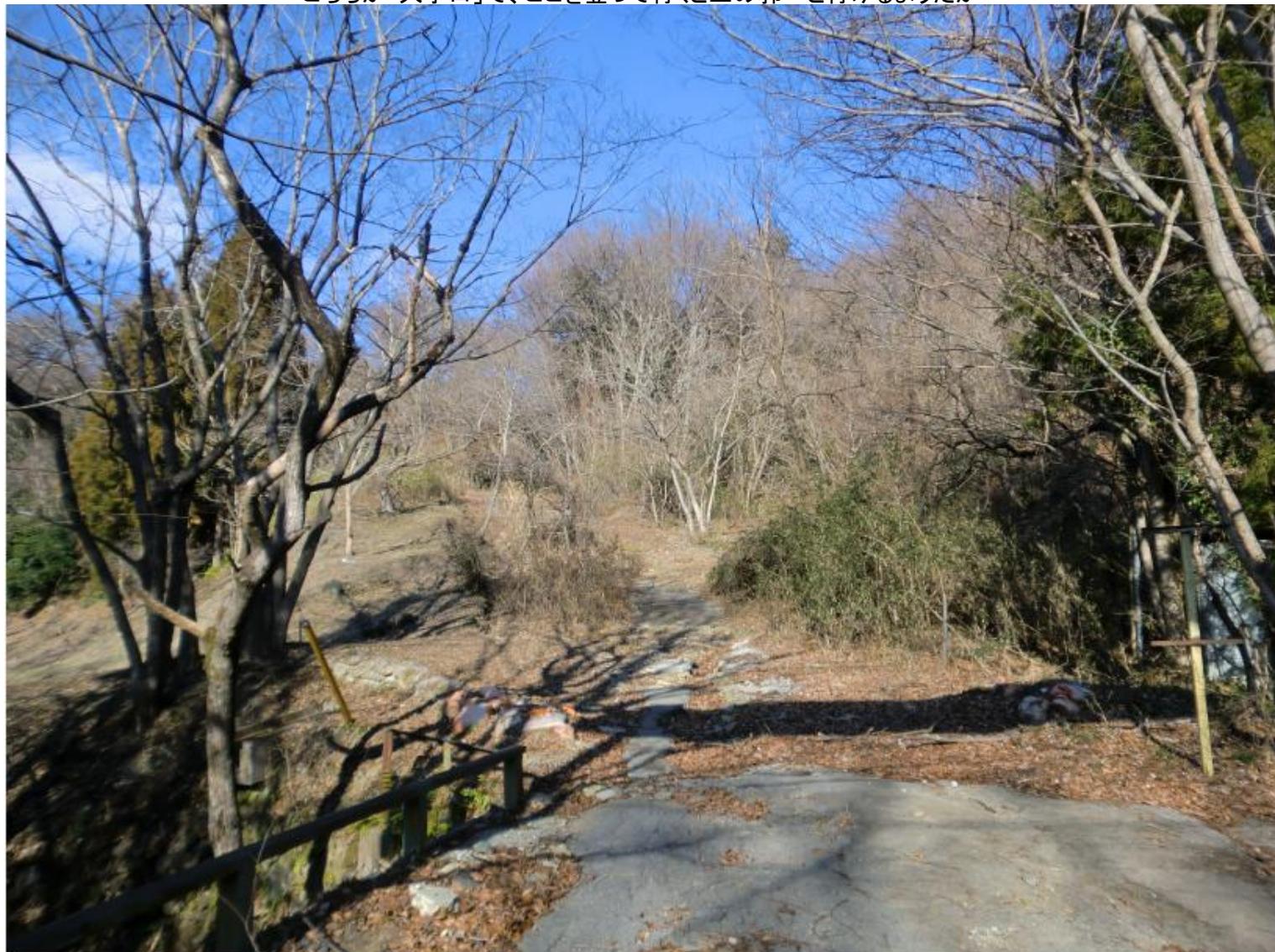
このスロープ道路を上ったところが南からの「大手口」らしい



ここがそうらしいが私有地のためか立ち入り禁止となっている



こちらが「大手口」で、ここを登って行くと三の郭へ行けるようだが・・・



何やら説明板がある



「舟くぼ/天神山城大手に近い窪地を言う」とある



このことをいうのであろうか/上流を見たところ



下流を見たところ



参考ホームページ

<http://joe.ifdef.jp/02-002tenjinyama/tenjinyama.html>

<http://kahoo0516.blog.fc2.com/blog-entry-18.html>

[http://blogs.yahoo.co.jp/lunatic\\_rosier/52694814.html](http://blogs.yahoo.co.jp/lunatic_rosier/52694814.html)

<http://blogs.yahoo.co.jp/myriver1020/41643256.html>

<http://tutinosiro.blog83.fc2.com/blog-entry-429.html>

<http://tutinosiro.blog83.fc2.com/blog-entry-430.html>

<http://homepage3.nifty.com/azusa/saitama/nagatoro.htm>

[http://53922401.at.webry.info/201409/article\\_27.html](http://53922401.at.webry.info/201409/article_27.html)

<http://rover.seesaa.net/article/398724584.html>

<http://4619.web.fc2.com/shiro80.html>

<http://ja2hyd.main.jp/Bike-Castle/Y-2006/1Q/tenjinyama.htm>

<http://www.hb.pei.jp/shiro/musashi/iwata-tenjinyama-ivo/>

<http://www.geocities.jp/sisin9monryu/saitamanagatorotennjinn.html>

<http://hya34.sakura.ne.jp/titibu/tenzinnyamazyou/tenzinnyamazyou.html>

<http://www.geocities.jp/tsukayan0112/joukan-saitama/tenjinyama-jou-nagatoromati/tenjinyama-jou-nagatoromati.html>

<http://www.water.sannet.ne.jp/u-takuo/tenzinyamazyo.htm>

